



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 アイティフォー

上場取引所 東

コード番号 4743 URL <https://www.itfor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 恒徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,429	25.6	289	50.6	320	40.2	215	32.4
2020年3月期第1四半期	2,729	39.4	192	95.0	228	70.0	163	76.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 337百万円 (338.2%) 2020年3月期第1四半期 76百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	7.91	7.91
2020年3月期第1四半期	5.95	5.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	15,742	12,278	77.7	448.28
2020年3月期	16,294	12,564	76.8	458.83

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,230百万円 2020年3月期 12,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		23.00	23.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、従来より、連結配当性向30%以上を目標に、期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。今後ともこの配当方針に基づく配当を実施してまいりますので、期末配当金および年間配当金の記載を「-」と表記しております。なお、2020年3月期の配当には、上場20周年記念配当2円を含んでおります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	2.6	680	1.9	730	1.3	500	0.8	18.33
通期	14,500	4.9	1,800	4.1	1,850	0.5	1,250	1.5	45.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	29,430,000 株	2020年3月期	29,430,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	2,145,959 株	2020年3月期	2,147,359 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	27,283,341 株	2020年3月期1Q	27,437,969 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大、さらにこの感染症を封じ込めるため実施された社会経済活動の制限措置により、景気の減速傾向が一層強まる結果となりました。今後は感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動の緩和が段階的に引き上げられていくと推測されますが、第2波・第3波の流行も懸念され厳しい状況が続くと見込まれます。

当社グループを取り巻く国内ITサービス業界におきましては、AIやIoTなどのデジタルトランスフォーメーションに関連するシステム投資、「働き方改革」に寄与する業務効率化ニーズの高まり、さらにアフター/ウィズコロナ時代の新しい働き方としてリモートワーク・テレワーク環境の導入など柔軟な労働環境の急速な整備が求められ、企業のIT投資意欲は高まっています。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化による需要の先行きにつきましては依然として不透明なため、今後の推移を引き続き注視していく必要があります。

このような状況の中、当社グループは、主力パッケージである個人ローン業務支援システム「SCOPE」などの好調な販売により受注高が伸長、さらに前期末時点での高水準な受注残が売上に寄与したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,429百万円（前年同期比125.6%）、営業利益は289百万円（前年同期比150.6%）、経常利益は320百万円（前年同期比140.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益は215百万円（前年同期比132.4%）となりました。

また、当第1四半期連結累計期間における営業活動においては、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的であったことから、受注高は4,540百万円（前年同期比140.0%）、受注残は13,997百万円（前年同期比110.7%）と前年同期を上回って推移しております。

なお、報告セグメント別の営業概況は次のとおりです。

(システムソリューション)

システムソリューションでは、主力の個人ローン業務支援システム「SCOPE」の販売が引き続き好調に推移しており、電子契約システムやローン申込Web受付システムを組み合わせた提案が評価され、受注獲得に寄与しております。また、大手地方銀行において「ロボティックコール」が稼働を開始いたしました。

公共向けでは、給食費の公会計化への移行に伴い自治体において給食費管理システムの検討が活発化するなど、学務支援システムや滞納管理システムの新規受注を獲得いたしました。

一方、コールセンターや小売業向けシステムの一部案件においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、受注が遅延するなどの影響を受けております。

その結果、受注高は2,187百万円（前年同期比120.3%）、売上高は1,801百万円（前年同期比116.3%）、セグメント利益は425百万円（前年同期比129.6%）となりました。

(サービスソリューション)

サービスソリューションでは、安定収益源である保守サービスに加え、公共分野向けBPO（業務委託）サービスにおいて政令市・中核市を中心に受注・売上ともに引き続き好調に推移しております。

一方、連結子会社におけるBPOサービスにおいて、新型コロナウイルス感染症の拡大対応に伴い、業務の受託が一時的に休止するなどの影響を受けました。

その結果、受注高は1,805百万円（前年同期比205.0%）、売上高は865百万円（前年同期比111.7%）、セグメント利益は66百万円（前年同期比49.8%）となりました。

(基盤ソリューション)

基盤ソリューションでは、システム機器販売、システム基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステムの提供を行っています。キャッシュレス決済において主力のマルチ決済端末「iRITSpay決済ターミナル」は、自治体からの引き合いも増加し、販売が順調に拡大しております。

その結果、受注高は547百万円（前年同期比100.7%）、売上高は762百万円（前年同期比188.0%）、セグメント利益は174百万円（前年同期比207.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は15,742百万円となり、前連結会計年度末に比べて552百万円減少いたしました。流動資産は12,201百万円となり、648百万円減少いたしました。主な原因は、有価証券が500百万円、たな卸資産が416百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,194百万円、現金及び預金が414百万円減少したことなどです。固定資産は3,541百万円となり、95百万円増加いたしました。主な原因は、投資有価証券が178百万円増加したことなどです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,463百万円となり、前連結会計年度末に比べて266百万円減少いたしました。流動負債は3,189百万円となり、270百万円減少いたしました。主な原因は、前受金が386百万円増加しましたが、買掛金が361百万円、未払法人税等が170百万円、賞与引当金が157百万円減少したことなどです。固定負債は274百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は12,278百万円となり、前連結会計年度末に比べて285百万円減少いたしました。主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により215百万円、その他有価証券評価差額金の増加により122百万円増加しましたが、剰余金の配当の支払により627百万円減少したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.8%から77.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での業績予想につきましては、2020年5月8日に公表いたしました、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は公表時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があるほか、予想事態についても今後変更となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,250,367	2,835,773
受取手形及び売掛金	2,923,985	1,729,439
有価証券	5,599,807	6,099,885
たな卸資産	890,040	1,306,182
その他	185,188	245,054
貸倒引当金	△88	△15,042
流動資産合計	12,849,301	12,201,293
固定資産		
有形固定資産	674,290	635,656
無形固定資産		
のれん	223,997	210,462
その他	374,637	388,197
無形固定資産合計	598,635	598,659
投資その他の資産		
投資有価証券	1,401,956	1,580,376
繰延税金資産	197,338	146,401
その他	573,069	580,035
投資その他の資産合計	2,172,365	2,306,813
固定資産合計	3,445,291	3,541,129
資産合計	16,294,592	15,742,422

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,461,266	1,099,560
未払法人税等	293,601	123,362
賞与引当金	352,706	195,581
前受金	580,298	966,958
その他	771,414	803,622
流動負債合計	3,459,287	3,189,085
固定負債		
役員退職慰労引当金	28,286	29,211
退職給付に係る負債	203,331	205,938
長期未払金	39,433	39,296
固定負債合計	271,051	274,446
負債合計	3,730,338	3,463,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,339,961	1,340,016
利益剰余金	11,398,069	10,987,055
自己株式	△1,463,824	△1,462,868
株主資本合計	12,398,875	11,988,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,581	244,923
繰延ヘッジ損益	189	42
退職給付に係る調整累計額	△3,463	△3,070
その他の包括利益累計額合計	119,308	241,896
新株予約権	34,480	37,862
非支配株主持分	11,589	10,259
純資産合計	12,564,253	12,278,890
負債純資産合計	16,294,592	15,742,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,729,728	3,429,385
売上原価	1,737,429	2,334,266
売上総利益	992,298	1,095,118
販売費及び一般管理費	799,971	805,384
営業利益	192,327	289,733
営業外収益		
受取利息	1,067	1,187
受取配当金	27,807	26,109
持分法による投資利益	2,513	1,244
その他	7,001	6,066
営業外収益合計	38,389	34,608
営業外費用		
支払手数料	1,281	1,559
固定資産除却損	654	—
その他	36	2,181
営業外費用合計	1,972	3,740
経常利益	228,745	320,601
特別利益		
新株予約権戻入益	—	40
特別利益合計	—	40
税金等調整前四半期純利益	228,745	320,641
法人税等	67,144	106,026
四半期純利益	161,600	214,614
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,558	△1,329
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,158	215,944

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	161,600	214,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,498	122,333
繰延ヘッジ損益	△247	△147
退職給付に係る調整額	124	393
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	8
その他の包括利益合計	△84,650	122,588
四半期包括利益	76,949	337,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,508	338,532
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,558	△1,329

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システムソリューション」、「サービスソリューション」、「基盤ソリューション」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「システムソリューション」は、主にパッケージソフトウェアに関する設計・開発から保守までの一貫したサービスを提供しております。

「サービスソリューション」は、主にカスタマーサービス、電話・訪問催告や窓口支援を行うBPOサービスを提供しております。

「基盤ソリューション」は、主にシステム機器販売、システム基盤インフラ設計・構築・納入・設置、ネットワークシステムソリューションを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	システム ソリューション	サービス ソリューション	基盤 ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,549,341	774,663	405,723	2,729,728	—	2,729,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,614	—	656	5,271	△5,271	—
計	1,553,955	774,663	406,379	2,734,999	△5,271	2,729,728
セグメント利益	327,941	133,838	84,239	546,020	△353,692	192,327

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△353,692千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	システム ソリューション	サービス ソリューション	基盤 ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,801,174	865,318	762,892	3,429,385	—	3,429,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,107	—	982	4,090	△4,090	—
計	1,804,281	865,318	763,875	3,433,475	△4,090	3,429,385
セグメント利益	425,149	66,667	174,378	666,195	△376,461	289,733

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△376,461千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「システムソリューション」において、前第1四半期連結会計期間に株式会社イーブの発行済み株式の全てを取得しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、前第1四半期連結累計期間において、121,949千円であります。